

令和 6 年度 第 2 回部活動地域移行検討委員会
会議録

日時： 令和 6 年 1 1 月 1 1 日（月）午後 7 時～ 8 時 4 5 分

場所： 結とぴあ 3 0 3 号室

第2回大野市部活動地域移行検討委員会 次第

と き 令和6年11月11日（月） 19時～
ところ 結とぴあ303号室

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 協議事項
 - (1) 各団体の活動状況について
 - (2) 前回報告のあった課題について（資料1）
 - (3) 各種連絡（資料2）
- 4 その他
- 5 閉会挨拶

大野市軟式野球連盟
大野ジュニアバスケットボールクラブ
大野市サッカー協会
大野市小中学校長会
大野市PTA連合会
大野市スポーツ協会
大野市文化協会
ピクルス
Shiny Crew
大野市卓球協会
大野ジュニアBC
大野市ソフトテニス協会
大野市陸上競技協会
大野市中学校吹奏楽連盟

【出席者】

林 順和（代理：山本 幸臣）
野尻 秀郷
明石 和典
大石 貴昭
林 大介
朝日 正幸
羽根田 繁紀
大畑 光博
齋藤 佑輔
高村 光昭
中山 幹雄
仲井 太（代理：藤田 幸也）
坂本 美智世
村口 正幸

【事務局】

教育総務課 課長
教育総務課 学校教育審議監
教育総務課 課長補佐
教育総務課 総括コーディネーター
教育総務課 主事
スポーツ推進課 課長
スポーツ推進課 課長補佐
スポーツ推進課 主事
地域文化課 課長
地域文化課 課長補佐

土蔵 郁代
山川 龍一
森永 奈緒子
勝矢 和弘
辻 綾子
澤田 陽彦
平瀬 和美
末永 大和
五十川 秀育
表 早苗

【開会】

【教育理念唱和】

【教育長挨拶】

【教育長】多数お集まりいただき、お礼申し上げます。大野市はこの夏、秋以降、休日の部活動において県下のトップを走るような形で大きな1歩を踏み出すことができた。皆様のご協力とご支援に対し、心から感謝を申し上げます。ただ、大卒が今進み出したというところ。国の方も検討委員会を開き、令和8年度以降どうするのかというような議論が進んでいる。大野市としても、そういう大きい流れをどう掴んでいくのかというところが大きい課題。また個別個別で様々な課題を抱えていると思っている。そのところもしっかり検討しながら、行政としてどのようなサポートをしなければならないのかということをしっかり考えさせていただきたい。

それともう1つ、大野市はこの数年、学校再編を進めてきている。ただ、その再編は学校の統廃合にとどまるわけではない。これを良い機会にして、大野市のあらゆる教育環境、またひいては子育て環境を総合的に整備していきたいという思いで進めている。そういった観点からも、この部活動の地域移行で、子ども達のためにどのような環境が整えられるのかということ是非常に大きな課題で、改革だと思っている。

大野のことは大野の我々が知恵を出し合いながら解決していかなければならない。この部活動の地域移行も、大野市は令和5～7年度のところ、令和4年度から始めており、他の自治体の前を走っているため、先行事例などを参考にすることができない苦しさがある。皆さんの知恵を拝借しながら一生懸命頑張っていきたい。

今日は時間が限られるが、いろんな観点からご意見や情報をいただきたいと思いますので、よろしく願います。一言お願いを申し上げて私のあいさつとさせていただきます。

【委員長挨拶】

【委員長】委員の皆様にお集まりいただき、進められることに感謝申し上げます。皆様ご存じの方もいるかと思うが、「スポーツ省が令和8年度から、平日も部活動の地域移行を推進していく」という新聞記事が出た。大野市では、既に平日もやっている地域クラブがある。これがすべての種目において平日もということなので、これからさらに議論され、大野市にあった部活動地域移行を考えていかなければならないと思うので、さらに皆様のご支援ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

【議事】

【委員長】協議事項に入る前に、休日の部活動の地域移行推進状況について、事務局の説明をお願いします。

――（総括コーディネーター説明）――（資料なし）

【総括コーディネーター】本市においては第1回の検討委員会以降、大野ソフトテニスクラブが9月7日に立ち上がり、陸上の結アスリートクラブが9月14日に立ち上がった。そして吹奏楽では大野ジュニア吹奏楽団が10月12日に立ち上がり、これで運動系8競技と吹奏楽の地域クラブが全て立ち上がったことになる。

県内の情勢としては、中学生を受け入れる地域クラブがかなり増え、280近くになった。ただ吹奏楽のクラブ設立については、大野市、鯖江市、敦賀市の3つしか立ち上がっていない。吹奏楽の地域移行は、どの市町も非常に悩んでいるということを知っている。

中体連の大会参加については、秋の新人大会で夏より9クラブ増え、56クラブが加盟している。大会でも地域クラブがかなり強いところもあり、奥越新人大会においては、男女バレー、男女バドミントン、軟式野球のクラブチームが優勝した。県大会においても、軟式野球とハンドボール部のクラブチームが優勝した。

最後に、本市では令和7年度に男子バレーのクラブチームが1つ立ち上がる予定である。

【委員長】協議事項（１）「各団体の活動状況について」について、第１回検討委員会以降の活動において、新たに生じた課題や困った事例があったら、簡単に発表をお願いします。また、第１回検討委員会以降に活動を開始した３団体についても、進捗状況について報告をお願いします。

【大野市ソフトテニス協会】９月から８回活動している。指導者は５名で、当初は指導者が足りるかどうかが心配していたが、調整して一応不足なく指導できている。課題は、大野では雪が降ると外のコートが使えないところ。体育館の中ではランニングなどの練習しかないので、どこか使える場所はないか探している。

体育館の中でということになると、体育館でも一部テニスコートのポールを設置できる場所がある。例えばエキサイトは屋根の下にコートがあるが、あそこは多目的な場所でなかなか使えないということでB＆Gを使っている。

【大野市陸上競技協会】陸上競技は先ほど説明があったとおり、９月１４日に初めての活動となった。最初の参加は１４名で、無事に１回目を終えることができた。そのあとは毎週土曜日、テスト期間中は活動をなしとして、大体土曜日に活動をしている。現在男子９名、女子１２名、１年生が１２名、２年生が９名の合計２１名で活動している。今はまだ開成と陽明で生徒が分かれているところがあるが、これからもっと仲が深まっていけば一緒に活動できるようになると思っている。

陸上競技も外の競技。ふれあい公園の陸上競技場は雪が降ると活動できなくなるため、今後、会場の確保が必要になってくる。

【大野ジュニア吹奏楽団】去年の１０月から先行の取り組みを始め、今年の１０月から正式にジュニア吹奏楽団を立ち上げた。これまでの先行の活動があったおかげか、とてもスムーズにすすんでいる。今後は総会を行って、組織をきちんとしたものにしていきたい。

参加しているのは、両中学校の吹奏楽部員のほぼ全員。予想していたよりも多いため、うれしい悲鳴である。ただ、全員入れという圧力をかけるつもりは全くないので、本当にやりたい生徒だけが入ってくればいいかなと思っている。

【委員長】新しく地域移行になった３団体から報告をしていただいたが、何かご意見ご質問などあれば、挙手の上、お願いしたい。

【委員長】学校の施設を使っているということで、会場の使用料は無料かと思うがどうか。

【大野市ソフトテニス協会】使用料を請求されていると聞いている。

【大野ジュニア吹奏楽団】１つの教室あたり何十円程度の使用料がかかっている。

【委員長】負担はどういう形でされているか。

【大野ジュニア吹奏楽団】今のところは、補助金等でまかなっている。

【大野市ソフトテニス協会】ソフトテニス協会からのお金もあてている。

【大野市陸上競技協会】補助金でまかなっている。

【委員長】３年間は補助金があるのでそれでまかなっているということだが、３～４年後以降については検討課題になっていくかと思う。

【委員長】質問がないようなので、今年の８月までに地域移行されている団体の方から、報告し

ていただきたい。

【大野市軟式野球連盟】現在大野クラブは、大野市軟式野球協会への補助金等で運営している。ただ、その補助金を頼って運営していくだけでは持続可能じゃないということで、今後保護者から会費を集めながら運営していかなければならないということを協議している。会費と指導者報酬の相場が分からないので、競技によって違うと思うが、どれくらいに設定しているか共有していただけるとありがたい。

しかし、少年野球は保護者会が大変で子どもに野球をさせるのにハードルが高いから入らず、中学校に入ってから部活だから入るという生徒が多い。そのため、保護者集金を集めて保護者会をやるとなると、少年野球と同じ流れになってしまうので、その兼ね合いが課題である。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】クラブを結成して5年ぐらい経った。夏以降、休日の部活動がなくなり練習が足りなくなるので、今まで週2回だった練習を週4回に増やした。ただ、中学校の部活動は平日しか練習できないので、県大会などに向けて休日に練習試合できないという状況である。逆に、他の地域は休日の地域移行が進んでないがために、中学校の部活として土日に練習試合ができています。すると大野の子達は、夏の地区大会にぶっつけ本番で試合をすることになる。ではクラブで出るかということ、まだできない。大野が先行して地域移行していることは良いことだと思うが、他の地域との足並みが揃っていないのでしっくりいかない部分はある。

今一番の課題は、平日の部活動にしか入っていない子達を、どうやってクラブに興味を持ってもらうか、加入してもらうかということ。男子だと部活動に入った子達のうち半分以上入ったが、女子だと半分もいないということもある。部活動の新入生は多くても、その中でクラブに加入してくれる子達が少ないので、勧誘が課題である。

【大野市サッカー協会】今年度の4月に大野シティジュニアユースという名前で、新しいチーム立ち上げ、平日も完全に移行して活動している。火・水・金・土・日曜日に練習しており、活動の拠点として真名川グラウンドを使っている。

まず、拠点にしている真名川グラウンドはこれまで10月でナイター利用を停止していたが、スポーツ推進課の尽力により、11月も天候によってはナイターを使って良いことになった。11月にも公式戦があるが、体育館の中で練習しなければならないと大変困っていた状況を救っていただいた。子ども達も指導者も保護者も大変喜んでいて。

スタッフのことで困っていることがある。年間を通じて県のサッカーリーグに加盟・登録して大会に出ているが、試合数をしっかり確保してやりたいと思い、上の学年のチームと下の学年のチームの2つを登録している。しかし上の学年と下の学年の試合の会場が違っていると、スタッフを振り分けて行かなければならないので、非常に困っている。今のところは何とかやりくりしている状況である。

補助金等を有効に活用させていただいている。平日に移行したとはいっても、引き続き継続してご支援いただけるとありがたい。

【ピクルス】第1回検討会以降の新しく生じた問題はないので同じような内容になるが、平日3回、週末に1日または半日活动をしている。ピクルスについては中体連の登録が許可されて大会にも出場させてもらっている。ただ、中体連の大会に出るには1つのチームに3中学校の生徒がいなければならない。ピクルスは大野と勝山の学校の生徒が混ざった状態で活動しているため大会には出られるが、3校の生徒がいて、各学校の行事予定、特にテスト期間が本当にバラバラで困っている。団体競技なので子ども達が揃わないとできない練習がある。市町がまたぐので難しいと思うが、そのあたり調整がもう少しあればと思う。

【Shiny Crew】特に新しく生じた問題はない。軟式野球連盟からお尋ねのあった会費について、小学校のスポ少は月3,000円前後だったので、Shiny Crewでは保護者会費として2,000円集めて、会場費をまかなっている。この先チーム運営をしていく上で必

要な備品が揃っていない状況なので、補助金等はその購入に充てようと考えている。会場費はこの先もずっと発生するものなので、保護者会の費用でまかなっていくような形で取り組んでいる。

【大野市卓球協会】小学生のクラブチームの指導者と中学生のクラブチームの指導者を兼ねている方が多いので、そのあたりの棲み分けをしながらやっている。例えば土曜日の午前は中学生、午後は小学生、日曜日の午前が小学生、午後は中学生と、指導者の方は1日中やっているような形である。強制してはいないのもあって部員数が少なく、平日の部活動には所属しているが土日は来ないという子もかなりいる。もともとの人数が多くない中で、そのうちの一部の子が参加している状況である。

クラブチームの小学生の雰囲気がありその敷居の高さがよろしくないのかなと思い、10月から小学生に向けて自由参加の体験会をしている。中学校で部活に入った時、土日や夜の練習に自然に入って来ることができ、また友達も誘ってこれるような雰囲気づくりをしていかないと考えている。

指導者にお支払いするお金の源泉徴収の仕方が素人には難しく、何かお示しいただきたいと要望させていただいた。

【大野ジュニアBC】中体連の大会で生じた問題として、平日に働いている方がコーチや監督として引率しようとして、会社の方から断られたということがあった。依頼書も書いたが、やはり平日働き盛りの方だと指導者として引率したり会場で指導したりすることができなくなるケースがあると分かった。例えば、大野市などから地域移行の事情があるのでご協力いただけないかと会社に対して呼びかけるなど、できれば市内の会社と協力しながら、地域移行できたらと感じた。

バドミントンはシャトルが消耗品で、練習の度に消化していくもの。基本の年会費として約3万円徴収しているが、土日の練習になるとシャトルの使用量が増えるということで、毎回半日で約500円ぐらい徴収しており、年間で見ると結構負担が大きい。今回の地域移行の補助金等でシャトル費用の大部分をまかなえるので保護者の負担は減るが、継続してこういう補助等がないとなると、長い目でみると運用が難しくなると思う。

冬になると屋外で活動している団体が体育館を使うので、活動する場所が不足してくると思う。そこで、できれば冬に入る前に各団体間で調整する場を作ったり、管轄は違うと思うが高校の体育館を使えないか検討したりしていただきたい。大野高校の体育館は比較的広く、空いていると思う。先生と繋がりがある一般の人が利用することもあるという話を聞いた。今の高校の体育館の使用ルールを見直してもらうなど、中学校の地域移行したチームが使えるような関係を作っていただけると非常に助かる。

【委員長】7団体から報告があったが、それぞれに意見や質問等あれば伺いたい。

【大野ジュニアBC】今、中学校ではテスト1週間前にクラブ活動を中止していると思うが、各団体ではテスト前に活動休止する期間をどのように決めているか。中学校の期間を参考にして決定しているのか、各団体で保護者やコーチと話し合っているのか、どのように決めているかお伺いしたい。

【大野市サッカー協会】中学校のテスト休みの期間と合わせている。

【ピクルス】学校の期間に準じて休みにしている。

【委員長】テスト期間中は休みにしているという団体は举手願います。

(大野市卓球協会以外が挙手)卓球はいかがか。

【大野市卓球協会】個人種目なので、親と本人が来たければ場はある。1人で練習している時もある。だから別に来るなとも来いとも言っていない。テスト期間は休んでいいよというスタンス

で、練習の場所はある。

【大野ジュニア吹奏楽団】大野ジュニア吹奏楽団は地域クラブとは言っているが、実際楽器の管理など色々な問題があるので、学校の部活の延長にかなり近い状態である。なので、学校のテスト期間は休みである。

【委員長】行政側としてはどういう指導をするのか。

【学校教育審議監】無責任な言い方に聞こえたら申し訳ないが、これまでも、教育委員会から中学校にテスト前は部活動を休んで欲しいということを申し上げる前に、学校の方でテスト期間を設定して部活動を休んでいただいているので、それをお願いをしてきた。

【委員長】卓球でいくと、個人種目だから場所は提供している。そこに親御さんの了解を得て子どもがテスト期間に練習をするというのは自由ということと考えればよろしいか。教育委員会の立場として。

【学校教育審議監】小学生も中学生もいるチームだということで、中学生がテスト期間になるからクラブの活動を休むというわけではないということかと思う。また学校からはテスト期間に計画的に勉強するようにという指導があるので、そこで親子で相談をして気晴らしなどで来る分には特に拒みはしないが、テスト期間だから来なくていいよという指導をしてくださってるのだと思う。実情がよく分からないのでそのように理解をさせていただいたが、実際のところ、1学期や2学期のテスト期間に中学生が練習に来たことはあったか。

【大野市卓球協会】小さい頃からやっていて県のトップレベルにいる中学生の数人は、テスト期間に関わらず選考会に呼ばれていくので、その練習を軽くしたいという子がいる。県の選考会は学校のテスト期間を考慮しているわけではないためである。中学校で卓球を始めた子がテスト期間に意欲的に来るということはほぼない。

【学校教育審議監】大野ジュニアバスケットボールクラブに質問したい。先ほど練習試合の話があったが、A x i s が他市の中学校と練習試合をする機会はあるか。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】ある。例えば陽明中学校から、練習試合お願いしますとどこかの中学校から連絡があったが土日は練習できないので、A x i s さんどうですかという話が来ることがある。ただそういうのはどうなのかな、と思っている。平日しか部活をしない子達は土日何をしているのか、教育委員会的にはどう思っているのか、と考える。僕は部活で育ってきた人間なので、中学校の3年間、何かを一生懸命やっている期間はあったほうがいいと思う。教育委員会としては、平日しか部活動をしていない子達は、いろんなところに行きたくて思っているのか、それはそれで個人の自由でいろんなことをすれば良いというスタンスなのか。

【学校教育審議監】教育委員会として、この休日の地域移行を行っていく1つの大きな目的は子ども達が自分のやりたいことを見つけて、それに取り組む機会を与えたいということ。部活動に全員加入という時代もあったが、今は部活動への加入が任意になり、部活動や土日の地域クラブに参加するかどうかは子ども達が選択するという形になった。子ども達が、まず自分のしたいことを見つけてそれに取り組む期間と考えている。

休日の地域クラブも入らない子が一体どんな過ごし方してるのかについては、この後、(3)各種連絡で今後の取り組みを説明させていただく。

【大野ジュニアBC】富田小学校で練習しようとした時に、設備が整っておらず、結局練習できなかったことがあった。各施設、コート分ぐらいは設備（支柱とネット）があるといいなと思う

のでお願いしたい。

【スポーツ推進課長】バドミントンの支柱は富田小学校にもあるがかなり古いということなので、そのあたりに関しては何か考えていきたい。またこの施設がバドミントンができる場所という形で、紹介できればと思う。

活動場所について質問させていただきたい。皆さん平日は午後7時から大体9時が練習時間かと思う。皆さん仕事をされているのでその時間だと思うが、平日午後5時半から7時までという時間帯に関してはどこの会場も使われていない状況である。そこで、平日午後5時半から7時までの時間帯に練習をするのが可能か教えてほしい。

また冬季間に陸上競技ではどのような練習をされるのか、今までも陸上部さんはどのような練習をしていたのかを教えてください。

スポーツ少年団でいうと週に2～3回の活動というのが日本スポーツ少年団の規定となっているが、現状を見るともう少し多いように思う。ただし、どのように練習されているかをスポーツ推進課の方で調べないといけないと思っている。

【委員長】平日午後5時半から7時に活動している団体は挙手をお願いします。（挙手なし）

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】練習回数を増やそうと平日午後5時以降の時間を検討したら、木曜日の午後6時ぐらいから7時ぐらいまでしかあいてない状況だった。それでもとりあえずやってみたが、午後5時45分ぐらいに鍵を開け、行けた指導者が1人か2人ぐらいだった。その結果、あまり指導内容に入れなかったで、シュート練習中心にするなど切り換えたはしたが、しんどかった。逆に夏場に朝早い練習は可能かもしれない。

【委員長】恐らくこの時間帯なのは指導者の都合だと思うので、その辺がなかなか難しいところかと思う。場所があいていてもどこも使っていない実態が午後5時半から7時というところだが、開いていても中学生が来ないという場合もあるのではないかと思います。今のところは、午後5時半から7時でやっているところは、ほぼないということ。

【大野ジュニアBC】バドミントンの指導者は、小学生と中学生の両方を指導している。小学生は早い時間帯に指導するので、中学生も一緒にできればいいが、小学生の人数が多いので中学生と一緒に練習する場所がない。やはり指導時間は分けないと対応できない。

また上庄中学校を使うとなると場所が遠いので、学校が終わってから直接移動してもなかなか時間が取れない。小学生の指導者は何人かいるが、早い時間に指導できる人は限られていて、中学生の指導になると、やはり夜に仕事終わってから指導しに行くという形になる。部活動だと学校の先生方がそのまま仕事の一環として指導できていたかもしれないが、社会人が指導するとなると、やはり難しい。

【大野市陸上競技協会】みんスポの練習などでは、ふれあい公園が利用できなくなった場合、体育館で練習を行っている。体育館はエキサイト広場や結とびあの多目的ホールで、ドリルなど、できる範囲の練習を行うことになる。部活では、冬季は階段や廊下も使って活動している。結アスリートクラブも冬季に外が使えないと体育館での練習になる。もし学校が使えるのであれば、廊下を使えると距離が長いのでありがたい。

【委員長】結とびあの多目的ホールは今年の12月から、調整会議をすることになった。なぜかという、これまで体育施設だったまちなか交流センターが子どもの遊び場になるため工事が始まり、使えなくなったからである。まちなか交流センターが使えないということで、結とびあの多目的ホールに利用希望が集中し、冬場だけかと思うが調整会議を開くということになった。雨が降った場合のことは別として、夏のうちは屋外でできるが、冬季はかなり練習場所が限定されたり少なくなったりしてきているのが実情。

そして、この場で私が言うべきではないかもしれないが、結とびあ多目的ホールが文化施設になると、文化活動については2～3日ほど前からリハーサルや会場の準備が始まるので3～4日は使えなくなる。平日であっても、午後5時以降であっても使えないという、実態が出てくるのではないと思う。これは余談だが、そういったことも含め、会場の確保についてはこれからもずっと心配される。また、指導者の確保についてもそうになっていくのではないと思う。

【文化協会】委員長から話に出たが、今、大野市文化会館のあり方検討委員会が開かれている。皆さんご存じかと思うが、文化会館が令和8年で休館することになっており、そのあとをどうするのかという検討をしている。我々としては、大野市の身の丈に合ったコンパクトなものを新たに建てて欲しいということで話を進めていたが、急遽市長が、それはもう財政上できないということを表明した。地域文化課からは、結とびあ多目的ホールを文化会館の代替施設とするという案が出てきた。我々としてはそもそもそこは体育館で、そこを文化会館として使うのは無理だということを、強く言っている。多目的ホールは体育施設としていろんな団体が使っておられると思うが、その体育系の団体の方はそれをご存じなのか心配している。私には中学校の地域移行については、それほど関係ないのか分からないが、一般の人やクラブが多目的ホールを文化会館として使うことになると、ある程度期間をもっておさえることになる。まちなか交流センターが子どもの施設になり使えなくなって、場所の取り合いになっているというような話が出ていること、さらに結とびあ多目的ホールがそれぐらい使われているというようなことをご存じなのかどうか、地域移行の部活動の方はそれほど関係ないのか、或いは吹奏楽部が文化会館を使って練習しているということは聞いているが練習場所がどうなるのか、という様々なことが絡んでくるので、その辺りはどうなのかなと思っている。

【委員長】大変危惧するところだと思っている。次に、協議事項（2）「前回報告のあった課題について」、事務局の説明を求めます。

――〈事務局説明〉――

【委員長】3つの課題について報告があったが、皆様の方から何かご意見ご質問があれば伺いたい。

【委員長】今ほど1については、ニーズ調査を実施しますと書いてあるので、皆様方から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。では協議事項（3）「各種連絡」について、事務局の説明を求めます。

――〈事務局説明〉――

【委員長】今ほどの説明、連絡について、聞きたいことや意見はあるか。

【大野ジュニアBC】アンケートについて、こういう質問をして欲しいなど取り入れていただくことはできるか。

【事務局】検討するのでメール等で連絡してほしい。時期的には、生徒は3学期の最初に、保護者は12月の終わりにアンケートを実施する予定である。

【バスケ】中体連の大会を平日以外にするということはもう不可能なのか。

【学校教育審議監】私のところにはまだ来年度の計画が来ていないので何とも言えない。

【大野市小中学校長会】何も決定はしていない。昔は全部平日だったが、それから何年か大会を土日という時期があった。基本的に教諭が担っている大会なので勤務時間中にとということで、

県は平日に動かしてきた。ただ、今は過渡期で、これを地域クラブにという方向で動いていくので、これからだんだん休日に大会をとという方向に動いていると思う。ただそれがいつ頃からかという単純にはできない。だがちょっとずつそういうことを考えながら進んでいて、中体連の会議ではそういう意見や議論がずっと出ている。

【バスケット】 わかった。やはり手伝いや準備は、平日よりは土日の方が行きやすい。

【卓球】 大会自体でなく前日準備とかも平日になるので、なるべくなら土日開催がありがたい。

【委員長】 最後に「その他」として事務局から願います。

【事務局】 次回の検討委員会を2月ごろに予定している。

【委員長】 最後に、これまでで何かご意見、ご質問等々あれば、伺いたい。

【大野市PTA連合会】 大野市PTA連合会としては、スポーツに関してちょっと協力しづらい、という形で協力していいかわからない、という状態。指導者の話もあったが、PTA連合会は親の集まりであり一応事務局同士になると思うので、事務局を通していつこういうイベントをやるので、よかったら来てください、とお話をいただいても良いと思う。さっき教育委員会の方が言ったように、子どもがやりたいものを見つけるためにはそういう機会が必要だと思った。

そういうお知らせを事務局を通してもらい、連合会の方で会議等で検討をして、そこから各学校のPTAにお知らせして、と、そういう場として使っていただきたいと思った。情報網として結構広がりやすいと思うので、直接お手伝いできるかという点と分らないが、そういう1つの情報ツールという感じで使っていただければ、こちらとしても少し協力できるかなと思う。これは1個人としての考えだが、また気軽に声かけていただければこちらでも検討はしたい。

【閉会】

【副委員長】 これまで当たり前に、普通にやっていたことの仕組みをころっと変えるのは簡単ではないということを本当に実感している。全く立場は逆だが、2年前、3年前ぐらいから学校の方でもいろんなことを検討し、冒頭の教育長のあいさつにもあったように、ちょうど再編というものがあり、遠方から通う中学生もたくさんいることを含めて、ここに合わせて動くべきだろうと決めた。方向は国の方で定めていて逆戻りは一切なく、もうやがて強制的にという時期が来るので、それよりも、いつ、そういうふうに進むといいだろうかということを前もって検討してきた。もう3年前になるか、教育委員会から通知を出してもらいながら、少しずつ周知浸透させて進めてきた。方向としては決まっているので、そこを見誤らずどういうことをすべきか、過渡期なのでいろんな困難もあるけれどそこをしっかりと意識して進めていかないといけないということ、中体連の方の絡みや校内の絡みなど、学校間での情報交換でも話している。難しいこともいろいろあると思うが、検討しながら進めていけたら良いという思いで、今日も聞かせていただいた。学校の方でもやれることをいろいろ考えながら進めていこうと思っている。

大野市は先に進んでから、地域差があつてかわいそうな時期もあるという話もよく分かるが、もう来年だけ。きっと大野市が先に進んでいるのを見て、尻に火がついて動いているところは急転換ををすると思うが、きっとそちらの方が大変になると思う。時間をかけて教育委員会主導でいただけているので、また少しずつ進んでいければいいと思う。どうかよろしくお願いします。